

事業名	公金収納のオンライン化(コンビニエンスストア納付等の推進)
担当部署	出納室 出納課

行財政改革推進本部における論点(審議のポイント)

コンビニエンスストア納付の推進について

取扱い科目の拡大について

多様な納付方法の提供について

主な意見

【市民委員】

- ・コンビニエンス納付の経費が1件53円は高すぎる。件数が増えたら単価を下げるなどのコストダウンを検討してほしい。
- ・良いシステムと理解するが、色々な面でコンビニ頼りに違和感を感じる。
- ・口座振替が1件10円、コンビニは53円と、およそ40円の手数料の差があるので、口座振替を促す手立てを考えるべきである。
- ・インターネット納付を是非、進めてほしい。
- ・守秘義務をしっかりとしてほしい。
- ・納付方法が多様になるということは、市民一人ひとりが一番よい方法を選択できるということで、収納率も少しずつであっても上がっていくと思う。

【市民モニター】

- ・「サービス」として捉えるのか、「収納率」を上げる手段とするのかが最大の論点である。
- ・コンビニ納付については「利便性は良いが多大なコストもかかる」ことを市民に周知し、口座振替納付の良さを積極的にPRする必要があると思う。
- ・口座振替だけでは公金を回収できないと思う。生活形態も多様化しているので、コンビニ納付は必要だと思う。
- ・個人情報流出の心配は残るので、セキュリティ問題にしっかりと取り組んでほしい。
- ・コンビニ納付を推進するにあたり、納期限が守られるようになり、その結果、督促事務が減少するなどのメリット面では十分な検討が必要である。